

サットン国語 学習の取り組み方



習^{なら}っていない漢字^{かんじ}がたくさんある～ どうしよう～

こんなことがたくさんあるかもしれません。でも、だいじょうぶです。ふりがなが^か書いてあります。もし意味^{いみ}がわからなかったら、『国語辞典』や『漢字辞典』で調べればいいのです。(辞書^{じしょ}ともいいます。)ただし、サットン1や2を勉強^{べんきょう}している人は、調べないで先生^{せんせい}やおうちの人に聞いてもかまいません。サットン6までに調べられるようになりましょう。

調べ方^{しら かた}がわからないよう～



調べ方^{しら かた}は、先生^{せんせい}にきくか、おうちの人に調べ方^{しら かた}を教^{おし}えてもらってください。さいしょは、いっしょに調べてください。



なんで、そんなめんどうなことをするの？
意味^{いみ}を教^{おし}えてもらった方が早いよう～

みなさんは、国語^{こくご}のお勉強^{べんきょう}が とくいになりたくありませんか？
国語^{こくご}のお勉強^{べんきょう}が にがてだと、
算数^{さんすう}などの ほかの科目^{かもく}も にがてになるのを知^しっていますか？

国語^{こくご}のお勉強^{おべんきょう}が得意^{とくい}になるために<その1>

- ① 習^{なら}ったことのない言葉^{ことば}に、少し^{すこ}ずつなれる。
『なれる』というのは、『おぼえる』ことではありません。
なんども見^みているうちに、だんだんおぼえていけばいいのです。
➔『ふりがな』を讀^よんだり、辞書^{じしょ}で調べたりするのは、おぼえるためではありません。
少し^{すこ}ずつなれるためです。
- ② 辞書^{じしょ}で調べることが得意^{とくい}になることです。調べるだけです。おぼえなくていいのです。



まずは、辞書^{じしょ}を買^かってもらいましょう。

辞書^{じしょ}は家^{いえ}において、家^{いえ}で調べましょう。
塾^{じゅく}にもってくる必要^{ひつよう}はないよ。



何度も何度も調べて、辞書^{じしょ}がボロボロになったとき、
とっても、とってもかしくなっているよ！





— おすすめの辞書 —

- ★『国語辞典』と『漢字辞典』の2種類を。
- ★フルカラーの「小学生用」を。低学年の場合は「低学年用」を。
- ★おすすめのメーカーは学研や小学館など。(それ以外も可)

《指導者の皆様へ》

- ① サットン1・2の期間は、わからない言葉は指導者が教えるのを原則としてください。サットン3より少しずつ調べる時間を増やしていき、サットン6の時には『原則として調べる』とします。よって、サットン1・2でも、調べる練習を徐々に作るようにしてください。
- ② サットンのテストで漢字をまちがえても、まちがい直しを通して少しずつ覚えればよいという指導で。それよりも、むずかしい漢字や語句にひるまないようにすることが大切です。(調べればそれでいい、予想をしよう、など)
- ③ ひらがなについては、最初に書き順も含めてしっかりと覚えさせるため、サットン1に練習ページがあります。漢字の指導・方針とは異なります。
- ④ 辞書は塾にも1セットは置かれますが、調べるのは原則として家庭です。授業では、そのような問題は飛ばして進ませます。ただし、読解問題でどうしても調べさせたいところがあったら、教室にある辞書で調べさせても構いません。
- ⑤ サットン1に毎回やや長めの文章が入っていますが、導入編ですので全てQRコードから朗読が聴けるようになっていました。先生や保護者の方が読んでもらっても構いません。もちろん、本人が簡単に読めるようなら読ませても構いません。また、朗読を聴いた後に読ませる方法もありますが、まだ導入編ですから決して無理はさせず、本人の意思に任せて、乗り気がないようなら聴かせるだけでも構いません。設問は自分で読ませてください。

国語のお勉強が得意になるために<その2>

- ① 国語の教材を、クイズを解いたり、ゲームであそんだりするように取り組めると、まちがえてばかりいても、いずれ得意になります。
- ② サットン国語は、クイズやゲームのように取り組めるようになっていたので、得意になり、かしこくなります。
- ③ 文章を書くことは、かしこくなる上で、とても大切です。サットンは、かんたんな書く練習がたくさん入っています。
- ④ サットンには、正解のないもんだい(自分の考えや予想を書くもんだい)がたくさん入っています。なぜか?? 国語が楽しくなり、かしこくなるからです。



サットンはクイズやゲームのように楽しくね!

